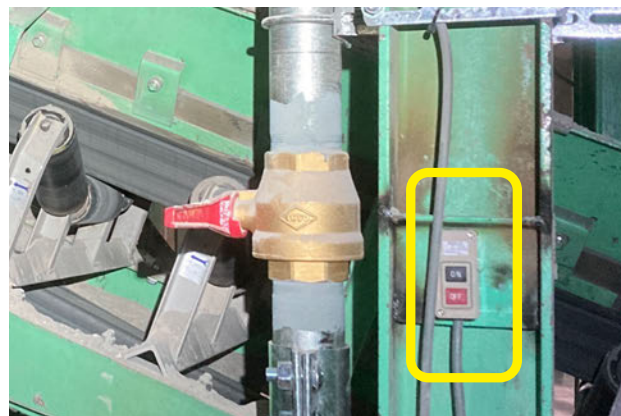


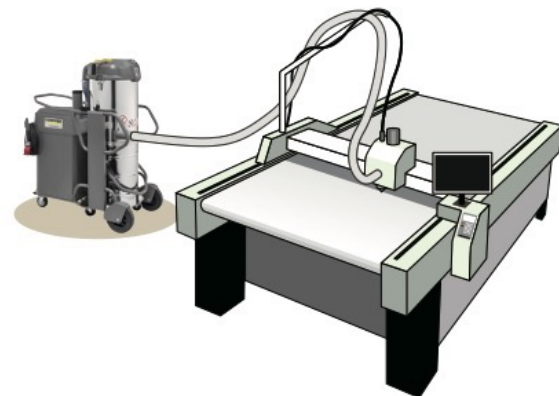
制御オプション

吸引箇所でスイッチオン



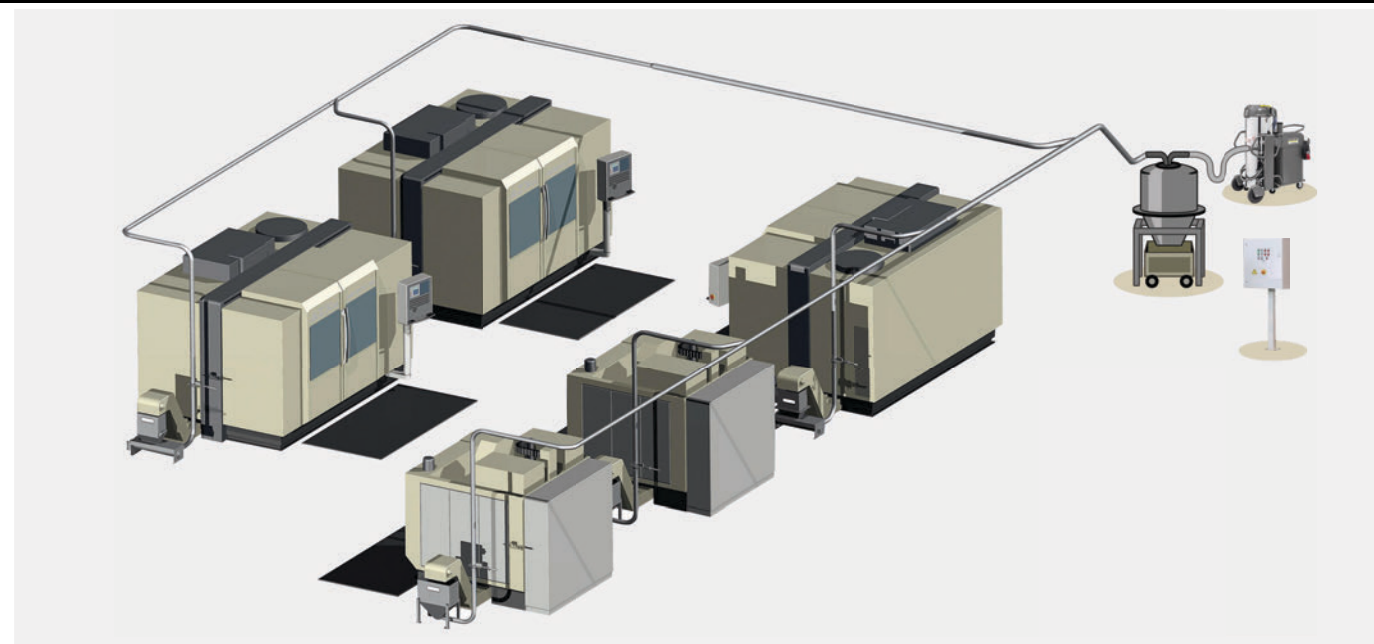
吸引箇所にスイッチを設け、
バキュームクリーナーの電源をオン

お客さまの機械と連動

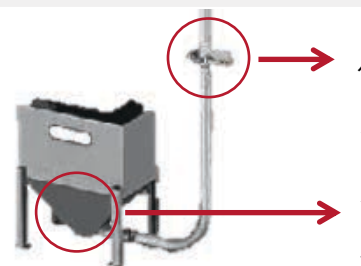


お客様の工作機と連動させ、ワークの加工時に出る
粉塵を稼働時間中連続吸引

バルブ制御で1カ所ずつ吸引、複数の工作機の切粉を1カ所に集める。



拡大



バルブ・・・制御盤の信号により開閉

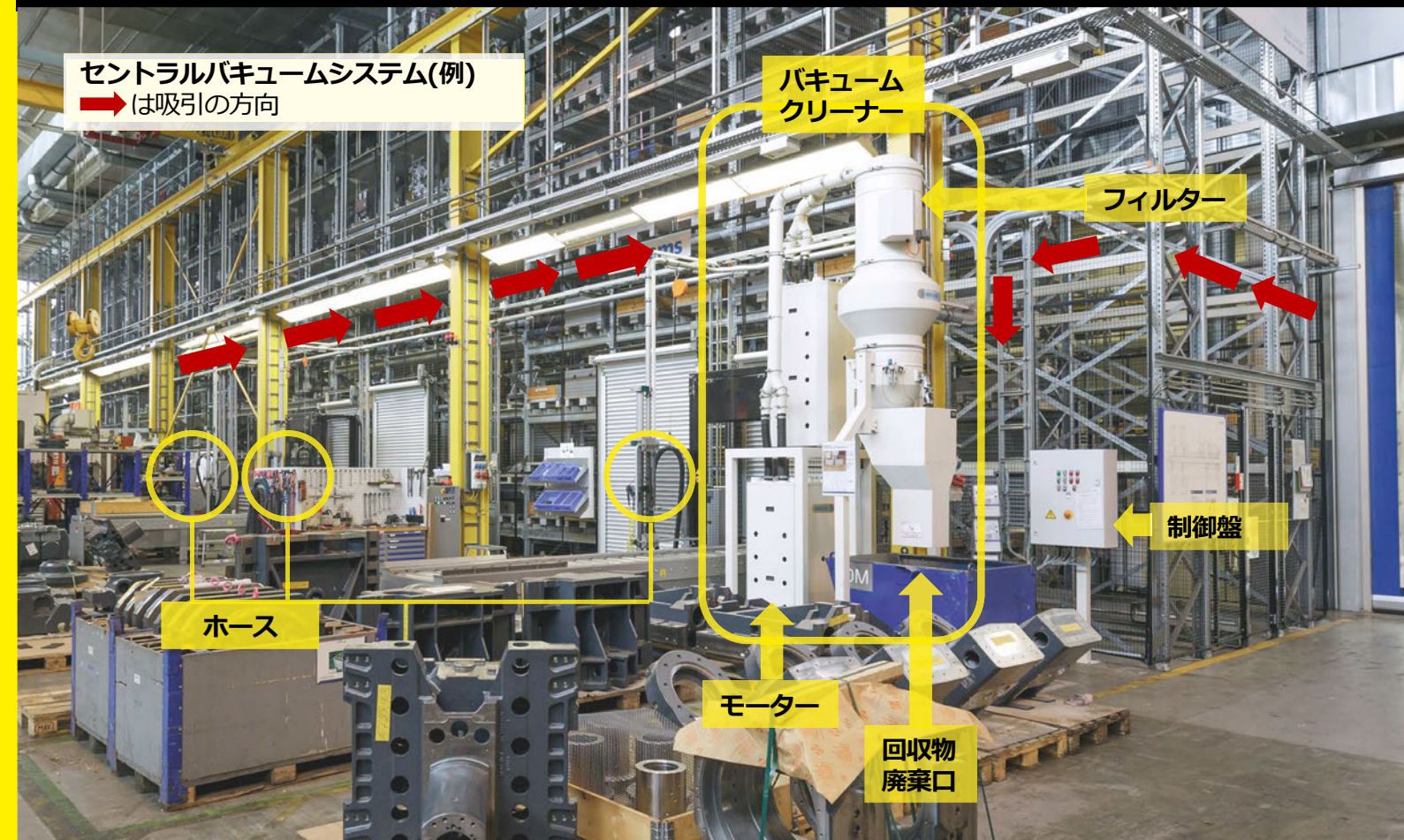
製造工程で回収物ができる場所が特定されて
いる場合は、下がホッパーになっている箱を
用意。その下にバキュームの吸引口を設け、
自動で回収。
外径8mmのチューブで0.45Mpa出せるエアが必要

ホッパー作成例



KÄRCHER

産業用バキュームシステムのご提案



清掃時間の短縮、労力の軽減

掃除機
単体の
場合

掃除機を
持ってくる

コンセントに
プラグをさす

吸引をする

吸引したものを
廃棄

掃除機を
片付ける

セントラル
バキューム
の場合

吸引をする

※決まった場所にできる
ゴミの回収なら、
ノズルを置いて自動回収

吸引したものを
廃棄

※自動廃棄機構の場合
不要

以下の情報をご連絡いただけましたら、
バキュームシステム全体の概算見積を提示させていただきます。

- ①吸引物 ⇒ _____ (本体の吸引力を決めるのに必要です。)
- ②吸引物の大きさ ⇒ MAX _____ mm (配管、ホースの太さを決めるのに必要です)
- ③同時吸引箇所数 ⇒ _____ 箇所 (コストに大きくかわるので少ない方がいいです)
- ④吸引物の量 (kg/時間) ⇒ _____ kg/時間 (本体の吸引力を決めるのに必要です)
- ⑤必要な配管とホースの長さ ⇒ _____ m (配管部材費・施工費を決めるのに必要です)

取扱店

ケルヒャー ジャパン株式会社

製品のご用命、仕様、修理に関するお問い合わせ先

■ 業務用製品コールセンター

TEL : 045-777-7410 FAX : 045-777-7411

受付時間 9:00~17:00 / 月曜日~金曜日 (祝日、当社休日を除く)

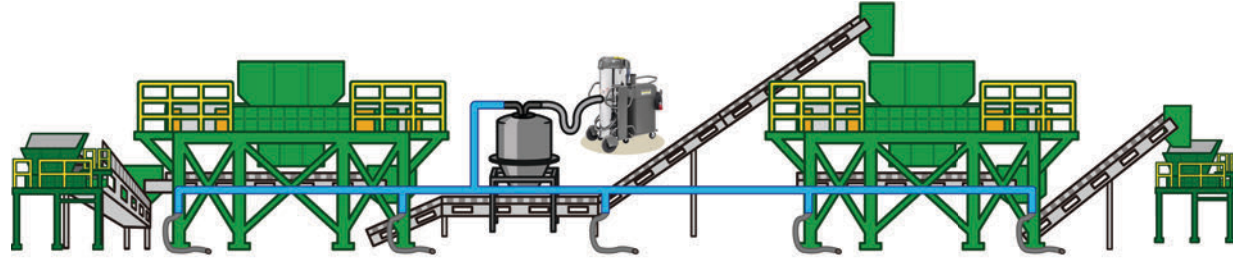
https://www.kaercher.com/jp/professional/clean_innovation/inquiry.html



配管込みの採用事例

産廃・リサイクル

吸引機が配管をとおり、工程中の粉塵を吸引し、自動廃棄ホッパーに回収。回収した粉塵をコンベアに戻し再利用するシステム。



大型吸引機 2 連結



自動廃棄ホッパー



工程中をカバーする配管

事例を
動画で
チェック！



アスファルト合材

外から約15mの高さまで配管を設置し、建屋内に入れ、中の粉塵を1階に回収。



大型吸引機を外からつなく



高さ15mの配管施工



配管を建屋の中に入れ清掃

事例を
動画で
チェック！



金属切削加工

金属加工工場での様々な採用事例



各工作機の切粉を自動吸引



工作機の中を吸引



回収後の切粉をチップコンヘ

事例を
動画で
チェック！



回収方法 オプション

ドラム缶キット

200Lの市販のドラム缶を活用



カスタムホッパー

ニーズに応じて製作。最大1,000Lまでの実績



のぞき穴

フォークリフトで
移動が可能

プレコンバッグに
回収

プリセパレータ



フォークリフトで移動可能



180°近く回転して
楽に廃棄



フォークリフトで移動可能
2点吊り可能



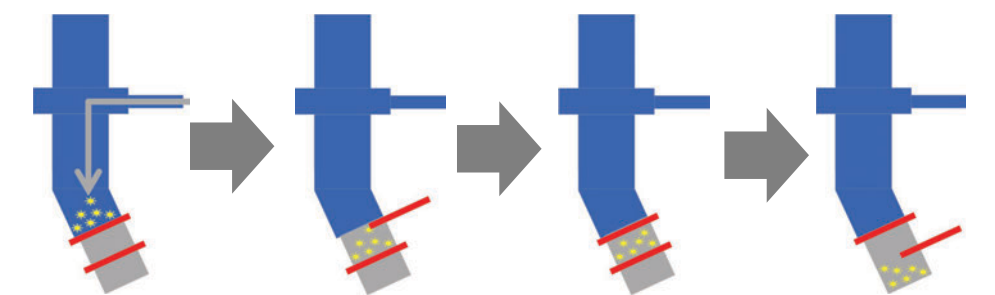
レバーの上げ下げで
蓋開閉

自動廃棄ホッパー

エアースリンダーで蓋の開け閉めを行うため、回収後の廃棄の手間がなくなります。大量の粉塵でも長時間連続吸引可能。



外径8mmのチューブで
0.45Mpa出せるエアが必要



①両蓋：閉
⑤下蓋：閉

②上蓋：開

③上蓋：閉

④下蓋：開

①～⑤のプロセスでどちらか1つの蓋は常に閉じており、真空度が保たれるため、吸引しながら廃棄をし続ける事が可能。 1サイクルMin30秒